

○秋田 滋

茶園から分離した *Pestalotiopsis* 属菌のチャ輪斑病菌の病斑形成に対する抑制効果

Akita, S.: Effect of *Pestalotiopsis* species isolated from tea field on control of tea gray blight disease

茶園には輪斑病菌を含めた数種類の *Pestalotiopsis* 属菌が存在し、腐生性の近縁種及び弱毒種による輪斑病菌強毒種の潜在菌に対する抑制効果が茶園で確認されている。切離葉で輪斑病菌の病斑形成、拡大に対する腐生性の輪斑病菌近縁種、輪斑病菌弱毒種、強毒種の非病原性系統による抑制効果の試験を行った。目的外の *Pestalotiopsis* 属菌の影響を排除するため隔離温室内で点滴灌水により栽培した茶樹の茶葉を供試した。切離葉への付傷直後の葉面と傷口処理及び傷口処理では腐生性の輪斑病菌近縁種、輪斑病菌弱毒種、輪斑病菌強毒種の非病原性系統とも病斑形成、拡大抑制効果が認められた。茶樹特有の腐生性近縁種が強い抑制効果を示した。強毒種の非病原性系統のみの接種では病斑は形成されず、病原性の復活は認められなかった。付傷感染前及び付傷感染 1 日後の処理では腐生性近縁種、強毒種の非病原性系統、弱毒種の弱病原性系統とも十分な病斑抑制効果は認められなかった。(果樹研カンキツ)